



日本共産党都議団ニュース

# あぜ上三和子 都議会報告

事務所 江東区千石 2-8-16  
電話 :3615-0130 FAX:3615-0253

発行 日本共産党東京都議団

電話 5320-7270

FAX 5388-1790

都議団控室

新宿区西新宿 2-8-1

2010年5月30日 No.9

## 「スーパー中枢港湾構想」で品川大井のコンテナふ頭を視察 「国際競争力」は、誰のため!?



はたしてさらに大きな港に拡大する必要があるのか、疑問の聲が広がっています。

「スーパー中枢港湾構想」の実態は、貨物取扱量などで格段の差（日本一のコンテナ取扱量

といわれる東京港は、プサン港の2割前後）があるアジアの周辺港との意味のない競い合いと、それを口実とした港湾の深水化などの大型公共事業です。リーマンショック以降、少しコンテナ扱い量が回復したものの、果たして多額の税金を投入して大型の港湾に拡大する必要があるのか、いま鋭く問われています。

江東区・青海にもコンテナふ頭がありますが、日本共産党都議団は、5月11日、品川大井のコンテナふ頭を視察しました。鳩山政権が『成長戦略』の一つと位置付ける物流分野で「港湾の国際競争力の強化」をかかげ進めているのが「スーパー中枢港湾」の整備です。しかし、

私は2月の港湾審議会で、このまま巨大化輸送を追求すれば、今後コンテナも大型化し、大型コンテナを運べる車に耐え

うる道路づくりなどが課題になるなど、結局環境より開発優先になりかねないという問題点を指摘。港湾の大型化に異議ありの声をあげてきました。

経済活動が国際化していることは十分に理解できますが、地球温暖化問題をどうするのか、長い目で日本の経済をどう発展させていくのかという視点で、物流問題も考えないとダメだと感じた視察でした。



都政に関するご意見、ご要望をお寄せください。